

社馬連 第5号
平成25年4月22日

会員団体 各位

日本社会人団体馬術連盟
会長 菅原 俊之
(担当 競技委員会)

第2回 JBG チャレンジカップの開催について

拝啓 貴団体におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

将来の全日本社会人馬術選手権大会出場を目指す選手層向けに、競技会を体験し、今後の馬術技能の向上に繋げていただく目的で、標記大会を併催いたします。

各団体におかれましては、練習に励み、今後の活躍が期待される選手へ積極的にお声掛けいただき、エントリーを勧めていただきますようお願いいたします。

なお、エントリーが多数の場合や募集人数に満たない場合は、主催者側で調整、中止等の判断をさせていただきますので、ご了承ください。

記

1. 大会名: 第2回 JBG チャレンジカップ
2. 主催: 日本社会人団体馬術連盟
3. 開催日: 平成25年6月8日(土)～9日(日)
4. 開催地: 馬術苑 中島トニアシュタール
5. 競技内容: 別紙、実施要綱を参照
 - 馬場馬術競技 A(8日): 日本馬術連盟制定 馬場馬術競技 A2 課目 2013
 - 馬場馬術競技 B(8日): 日本馬術連盟制定 馬場馬術競技 A2 課目 2013
 - 障害馬術競技 A(9日): 小障害馬術競技 80cm クラス
 - 障害馬術競技 B(9日): 小障害馬術競技 60cm クラス
6. 出場資格:
 - (1) 大会開催時点で、本連盟の会員資格を持ち、以下の騎乗者資格を有すること。
 - 馬場馬術競技 A: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B グレード、B'グレード
 - 馬場馬術競技 B: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 C グレード

- 障害馬術競技 A: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B グレード、B'グレード
 - 障害馬術競技 B: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B'グレード、C グレード
- (2) 過去に全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会、およびそれに相当する大会に出場経験がないこと、又は相当する経験が浅いこと。
 - (3) 将来、全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会に出場する目標を持つこと。
 - (4) 馬場馬術競技においては日本馬術連盟制定 馬場馬術運動課目 A2 課目 2013 程度、障害馬術競技 A においては小障害馬術競技 80cm 程度、障害馬術競技 B においては小障害馬術競技 60cm 程度の騎乗技能を有すること。
 - (5) 障害馬術競技 A と障害馬術競技 B の両方にエントリーすることはできない。
 - (6) 基本的な馬匹の馬装と手入れができること。
 - (7) 何らかの障害保険に加入していること。

7. 出場料: 各競技 10,000 円 (昼食含む)

8. 募集人数: 各競技 8 名程度

原則として申し込み順としますが、大会趣旨に沿った選手を優先し、趣旨に添わない場合はエントリーをお断りする場合があります。

- 馬場馬術競技において、エントリー数によって、A・B を統合する場合があります。
- 1 選手につき 1 競技 2 エントリーまで可能としますが、1 エントリーに制限する場合があります。

9. 申込方法:

別紙 参加申込書に記入の上、期日までに郵送またはメールにてお申込みください。申し込み締め切り後、応募人数に応じて調整を行い、2013 年 5 月 20 日(月)までに、エントリー通知のご連絡をいたします。

出場申込書 送付先:

日本社会人団体馬術連盟

〒104-0033 中央区新川 2-6-4 新川エフ 2 ビルディング 6 階

TEL: 03-3297-5630 E-Mail: shabaren@jbg.jp

10. 申込締め切り: 平成 25 年 5 月 13 日(月) 正午

11. 出場料の納付:

エントリー通知を受領後、出場料をお振込みください。出場料の払い込みの確認をもってエントリー完了とします。期日までに出場料のお振込みがない場合、エントリーを取り消し、次点の方を繰り上げる場合がありますので、ご了承ください。なお、出場料振込み後の返金は致しません。ただし、主催者都合の場合はこの限りではありません。

(1) 出場料 振込先:

三井住友銀行神田支店 普通預金口座 1300690 日本社会人団体馬術連盟

(2) 振り込み期限:

2013年5月28日(火)

12. その他

- 出場選手は同日、開催される第32回 全日本社会人馬術選手権大会 スプリングの運営をお手伝いいただき、日本社会人団体馬術連盟における競技運営に触れていただきます。
- ✓ お手伝い内容に希望がある場合は、申込書の備考欄へお書きください(例えば、馬場馬術競技に出場される方がスプリング ドレッシングのセクレタリ、馬場馬術競技に出場される方がスプリング ジャンピングの場内を希望される場合など)。
- エントリー選手が出場できなくなり、団体内で他の有資格選手へ変更する場合は、事務局までご連絡ください。

以上

コラム: 社馬連のエントリー料は高い?安い?

社馬連の競技への参加費を高いと思いますか?安いと思いますか?

社馬連の競技会が他の主な馬術競技会と大きく違うのは、貸与馬による競技会ということです。ふつうの馬術競技会には自馬(実際には乗馬クラブから借りた馬の場合もあります)で出場しますが、社馬連の競技会では社馬連がまとめて乗馬クラブから馬をお借りして、選手に割り当てています。

右の表は、馬術競技会へ出場する場合の一般的な費用の一例です。

(乗馬クラブや馬の頭数などによって変わってきます)

このように、通常はかなり費用がかかることが分かります。

今回の社馬連のチャレンジカップでは出場料が10,000円です。

これには、借馬代や大会の運営経費なども含まれています。

なぜこんな値段で開催できるのかというと、

- ・ 社馬連の活動に賛同し、協力してくださる乗馬クラブがいて、そのクラブと信頼関係を継続的に築いているから
- ・ 社馬連が一括して馬を借り、各団体から派遣される馬取扱とともに管理しているから
- ・ 各団体から派遣される委員・役員によるボランティアによって大会が運営されているから

などの理由が挙げられます。

本人出場料	8,000円
借馬代	20,000円
馬運代	10,000円
飼料・寝藁代	5,000円
指導料	5,000円
スタッフ騎乗料	10,000円
スタッフ出場料	8,000円
スタッフ日当	15,000円
スタッフ宿泊費	15,000円
合計	96,000円

通常ではありえない金額で出場できる貴重な機会ですので、ぜひ出場してみてください。

そして、乗馬クラブの協力・役員や馬取扱のサポートで成り立っていることに感謝を忘れないでください。